



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月13日

上場会社名 スカイマーク株式会社 上場取引所 東
コード番号 9204 URL <https://www.skymark.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 洞 駿
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理部長 (氏名) 田上 馨 TEL 03(5708)8280
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	事業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	52,035	28.3	3,180	93.5	5,978	46.0	3,318	22.7
2023年3月期第2四半期	40,568	—	1,643	—	4,096	—	2,704	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	55.00	—
2023年3月期第2四半期	57.19	—

(注) 1. 当社は、2022年3月期第2四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2023年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	114,802	30,534	26.6
2023年3月期	107,837	23,917	22.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 30,534百万円 2023年3月期 23,917百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は定款において第2四半期末及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では2024年3月期の期末における配当予想額は未定としております。

3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	事業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	102,300	20.8	5,600	62.2	5,600	50.8	5,800	1.3	96.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	60,329,400株	2023年3月期	60,329,400株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	一株	2023年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	60,329,400株	2023年3月期2Q	47,286,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] P. 3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、2023年11月13日（月）に機関投資家・アナリスト向けオンライン四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会の内容（動画）及び四半期決算補足説明資料については、速やかに当社IRサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態の分析に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い経済及び社会活動の正常化が進み、ポストコロナ時代に突入いたしました。景気は緩やかな回復基調にあり、個人消費は持ち直しの動きが見られました。一方で、続く原材料価格及びエネルギー価格の高騰や世界的な金融引き締めによる影響を受けた円安の進行など、依然として先行きには十分注意が必要な状況が続いています。

当社が事業を展開する航空業界の国内線市場においては、社会活動の正常化と共に旅客需要が本格的な回復を見せており、一部で台風の影響を受けながらも夏季休暇期間を中心に好調に推移いたしました。今後も、円安による旅行者の国内旅行へのシフトや訪日観光客の増加などにより、旺盛な旅客需要の継続が期待される状況にあります。

このような環境下において、当社の当第2四半期累計期間の有償旅客数が3,972,804名（前年同四半期累計比23.4%増）と第2四半期累計期間においては過去最高となりました。また、当社の中長期経営目標を実現するための施策の1つとして、顧客満足の向上を追求した高品質なサービス提供を目指す中で、公益財団法人日本生産性本部 サービス産業生産性協議会が実施している2023年度JCSI（日本版顧客満足度指数：Japanese Customer Satisfaction Index）調査の「国内長距離交通部門」において、2年連続で顧客満足第1位を獲得いたしました。

（事業収益及び営業費用の状況）

当第2四半期累計期間においては、旺盛な旅客需要を着実に取り込むことができた結果、事業収益は52,035百万円（前年同期比28.3%増）となりました。事業費につきましては、運航便数の増加（前年同期比3.0%増）に加え、燃料価格の高騰による航空燃料費の増加や、機材保守整備に係る委託費用の増加により45,905百万円（前年同期比26.3%増）となり、営業利益は3,180百万円（前年同期比93.5%増）となりました。経常利益は円安に伴う外貨建資産に係る為替差益の計上等により5,978百万円（前年同期比46.0%増）、四半期純利益は法人税等調整額の計上2,644百万円により3,318百万円（前年同期比22.7%増）となりました。

（2）財政状態の分析に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の資産合計は114,802百万円となり、前事業年度末に比べ6,965百万円増加しました。これは主に、航空機の重整備に伴うリース会社からの長期預け金の返戻金（円安に伴う評価益を含む）による預金4,699百万円の増加及びデリバティブ取引に係る含み益見合いとなるデリバティブ債権の増加1,826百万円によるものです。負債合計は84,267百万円となり、前事業年度末に比べ348百万円増加しました。これは主に、秋以降も継続する旅客需要の高まりに伴う契約負債の増加2,159百万円、原油価格の高騰により当社が保有するデリバティブ取引に係る持高に対する含み損が縮小したことに伴うデリバティブ負債の減少1,315百万円等によるものです。純資産合計は30,534百万円となり、前事業年度末に比べ6,616百万円増加しました。これは主に、四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加3,016百万円、為替予約等のデリバティブ取引による繰延ヘッジ損益が3,600百万円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前事業年度末に比べて4,758百万円増加し、27,278百万円（前事業年度末は22,519百万円）となりました。

各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は5,331百万円（前年同期は1,743百万円の獲得）となりました。これは主に税引前四半期純利益5,978百万円に加え、契約負債の増加2,159百万円及び長期預け金の増加1,587百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、支出した資金は972百万円（前年同期は144百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出710百万円及び敷金及び保証金の差入による支出240百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、支出した資金は351百万円（前年同期は2,074百万円の支出）となりました。これは主に配当金の支払275百万円及びリース債務の返済による支出76百万円によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想については、2023年5月15日に開示いたしました「2023年3月期 決算短信」から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,519	27,278
営業未収入金	5,062	6,012
貯蔵品	18	25
未収入金	1,831	1,732
前払費用	3,619	4,083
デリバティブ債権	183	2,009
その他	1,198	2,326
流動資産合計	34,433	43,468
固定資産		
有形固定資産		
航空機材(純額)	11,408	10,821
その他(純額)	3,421	3,344
有形固定資産合計	14,829	14,166
無形固定資産	376	356
投資その他の資産		
長期前払費用	173	144
敷金及び保証金	3,979	4,394
長期預け金	31,102	32,689
繰延税金資産	22,897	18,349
その他	44	1,232
投資その他の資産合計	58,197	56,810
固定資産合計	73,403	71,333
資産合計	107,837	114,802
負債の部		
流動負債		
営業未払金	4,140	3,128
短期借入金	30,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	—	1,000
未払法人税等	32	16
契約負債	12,165	14,325
定期整備引当金	11,748	17,188
賞与引当金	1,014	1,363
デリバティブ債務	350	—
その他	1,926	2,412
流動負債合計	61,378	59,434
固定負債		
長期借入金	1,000	10,000
返還整備引当金	3,562	3,584
定期整備引当金	15,527	10,046
資産除去債務	439	442
デリバティブ債務	1,009	44
その他	1,002	715
固定負債合計	22,541	24,833
負債合計	83,919	84,267

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	18,353	18,353
利益剰余金	5,726	8,742
株主資本合計	24,179	27,196
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△262	3,338
評価・換算差額等合計	△262	3,338
純資産合計	23,917	30,534
負債純資産合計	107,837	114,802

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
事業収益	40,568	52,035
事業費	36,338	45,905
事業総利益	4,229	6,129
販売費及び一般管理費	2,586	2,949
営業利益	1,643	3,180
営業外収益		
違約金収入	338	462
為替差益	2,491	2,849
その他	204	126
営業外収益合計	3,034	3,438
営業外費用		
支払利息	242	221
支払手数料	329	387
その他	9	31
営業外費用合計	581	640
経常利益	4,096	5,978
特別損失		
減損損失	1,212	—
特別損失合計	1,212	—
税引前四半期純利益	2,883	5,978
法人税、住民税及び事業税	16	16
法人税等調整額	162	2,644
法人税等合計	179	2,660
四半期純利益	2,704	3,318

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	2,883	5,978
減価償却費	1,195	1,222
減損損失	1,212	—
定期整備引当金の増減額 (△は減少)	4,111	△41
返還整備引当金の増減額 (△は減少)	636	22
賞与引当金の増減額 (△は減少)	699	348
受取利息	△0	△0
支払利息	242	221
為替差損益 (△は益)	△463	△1,154
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,266	△713
貯蔵品の増減額 (△は増加)	△3	△7
前払費用の増減額 (△は増加)	270	△464
未収入金の増減額 (△は増加)	△737	174
長期預け金の増減額 (△は増加)	△7,394	△1,587
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,086	△878
契約負債の増減額 (△は減少)	4,138	2,159
未払金の増減額 (△は減少)	△1,114	156
未収消費税等の増減額 (△は増加)	184	△75
未払消費税等の増減額 (△は減少)	42	204
その他	470	19
小計	2,019	5,584
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△242	△220
法人税等の支払額	△33	△32
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,743	5,331
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△116	△710
有形固定資産の売却による収入	0	16
無形固定資産の取得による支出	—	△38
敷金及び保証金の差入による支出	△33	△240
敷金及び保証金の回収による収入	2	—
関係会社の清算による収入	1	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△144	△972
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入金の純増減額 (△は減少)	△2,000	—
リース債務の返済による支出	△74	△76
配当金の支払額	—	△275
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,074	△351
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	752
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△475	4,758
現金及び現金同等物の期首残高	9,282	22,519
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,807	27,278

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。